

全校朝会（6月・水無月）

2018. 6. 9

6年生に、好きな教科とその理由を聞きました。

今週、月曜日と火曜日は晴れていましたが、水曜日から雨が降る日が多くなりました。どうやら「梅雨入り」したようです。北海道の北にはオホーツク海という海があります。北海道や本州など日本の東には太平洋という海があります。この2つの海の上に高気圧が発生すると、2つの高気圧の間に雨が降り続く「梅雨前線」が長く伸びて、日本全体が雨の多い季節になります。これが「梅雨」です。毎年6月頃が「梅雨」の時期です。

雨が多いと外で遊べないのは残念ですが、お気に入りの傘や長靴があると、少し楽しみになります。雨に濡れた木の葉や花びらもきれいだなと思うことがあります。6月は日本の昔の呼び方では「水無月」と言います。「水無月」・・・雨が降るのに水が無いというのは不思議だと思います。とても気になったので調べてみました。

そうしたら「水無月の無」という字は「ない」という意味ではなく「～の～」という言葉と言葉の間の言葉なのではないかと書いてありました。・・・ということは、水の月と言うことになります。田んぼに水がたっぴりとある月、それが6月、「水無月」です。「水無月」という呼び名だけではなく、田んぼにたっぴりと水を張るので「水張月」、木の葉が青々と生い茂るので「青水無月」、風が待ち遠しいので「風待ち月」、セミの羽のように薄い服を着るようになるので「蝉の羽月」、雷が鳴ることが多いので「鳴る雷月」という呼び方もあるそうです。6月の呼び方はいろいろあるのですね。素敵な呼び方がたくさんあるので驚きました。ちなみに、6月は英語では June と言います。ローマ神話のジュピターやジュノーと関係があるそうです。

言葉って素敵だなと思っていたら、6月の俳句という本を見付けました。俳句というのは五文字・七文字・五文字の言葉をつなげてつくったものです。季節の言葉が必ず入ります。

- ・アジサイに しずくあつめて 朝日かな
- ・葉の裏に ひぐれの暗さ かたつむり
- ・山風に あらわれみゆる さくらんぼ
- ・末の子が カビとことばを つかうほど

う～ん、すてきな俳句ばかり・・・と思って読んでいたら、「カビ」という言葉が出てきたので「えっ？」とびっくりしてしまいました。カビの中には薬のもとになるものもあるようですが、私は、やはり家の中のトイレやお風呂場などの水の多いところにカビが生えると、臭くなるので嫌です。あまり触りたくありません。ですから、カビが生えないように水を雑巾でよく拭き取ったり、食べ物のカスが出ないように工夫して料理をしたり、残ってしまったらすぐに冷蔵庫にしまったりするなど、とても気を付けています。みなさんも、掃除の時間に丁寧に掃いたり拭いたりすると良いと思います。

最後に、6月の食べ物を紹介します。私のおすすめ第1位はアスパラガスです。ゆでたり蒸したりして塩味で食べるのが一番おいしいと思うのですが、ベーコンや豚肉で巻いて焼いてもおいしいです。第2位はソラマメです。実は水曜日に20こくらい食べてしまいました。大満足でした。第3位は魚のアユです。塩焼きがおいしいです。アユは高級なので給食では出ないと思いますが、ソラマメかアスパラガスは出るかな。出たらいいなと思っています。

今日から学校公開です。頑張りましょう。